

# 生活クラブ運動グループ狛江地域協議会

## 市民版地域福祉計画策定

2022年3月

市民版地域福祉計画を策定するにあたり、生活クラブや地域協議会の新しい人たちの声を集め、参加を広げたいと数年模索しましたが、日常の活動に追われているうちにコロナ禍となり、集まりを呼びかけることさえ難しい事態となりました。

2021年8月、インクルーシブ事業連合「出前講座」での助言を受け、狛江地域協議会のこれまでの居場所づくりを振り返ることとしました。現在実施している「サークル花むすび」「みんなの居場所」の実践を振り返り、今後取り組むべき方向を確認しました。

### 1. これまでの取り組み概要

狛江地域協議会ではまちに住み続けるために必要な機能について話し合う中で、地域に欲しい、必要な機能として、「居場所」への関心が高かった。現在2つの居場所を実施。

#### ◇「サークル花むすび」

##### ①「どんな居場所が必要か」話し合い

2011年9月5日 15:00～ なかよし相談室にて

☆地域の人が参加。経営・運営 週一回開催または月2回開催

##### ポストイットからのまとめ

基本 (椅子がある、禁煙)

心 (入りやすい、ほっといてくれる、ゆっくりいられる、堅苦しくない、ほっとできる、楽しい時間を共有できる)

お楽しみ (体操、ガーデニング、抹茶、歌、楽器、料理)

絶対! (おいしいものがある2、軽食できる4、おしゃべりできる3、あまりお金を使わない2)

環境 (緑が見える3、花がある、静かな音楽2)

希望 できれば … いつも空いている (10時～18時)

交流の場 (知り合いができ、情報交換できる、趣味が楽しめる、子どもとのふれあい)

その他 家が近い3、交通の便

##### ②試行から生活クラブサークル登録へ

4回の話し合いを経て 「みんなで歌いましょう」を2回試行

生活クラブ生協のテーマコミュニティ (2013年からはサークル) 登録。

生活クラブハーモニー掲載「いろんな世代の方の交流、ほっとする場所を目指します」

③2012年2月試行後、メンバー宅の離れ（中和泉）での継続開催となる。

自由なおしゃべりとお茶・お菓子。時には折り紙など。最後に歌を歌って終了。

希望者にはあじさいさんのお弁当注文、チラシ作成し参加者、お誘いしたい方配布。

地域協議会メンバーを中心にご近所の方（高齢男性も）や子ども連れママの参加もあった。

その後地域に場所を提供している「多摩里」（東和泉）での開催となり、現在に至る。

#### ◇「みんなの居場所」

① 2016年3月、子どもを取り巻く貧困、個食（孤食）、不登校などの問題解決の糸口とするための、子どもの居場所の試行として、春休みに「おなべでごはんをたいてみよう」、夏休みに「なつやすみだ～みんなおいで」（2回）を実施。

② 2017年より西河原公民館での定期開催

手作りにこだわった食事作り（希望する子どもも一緒に）と一緒に食事することを通して地域で多世代がつながれる居場所づくりを目標とした。

毎月第2土曜日、10時から16時（出入り自由）

参加費無料 ただし食事をする大人は300円。

生活クラブサークル登録により活動費1万円

マイ雑巾づくり、絵本の読み聞かせ、フラッグづくり、漫画、ボードゲームなどのお楽しみを用意。

当初は西河原公園で開かれているプレーパークに参加している親子への声かけなどで小学生の参加も多く、調理や皿洗いなども一緒にした。料理に興味のある幼児の参加もあった。

③ 2021年コロナによる緊急事態宣言により、1月から3月は「居場所」活動は中止し、宣言解除後4月は居場所活動のみ、感染状況によりクイーンズのお弁当のお渡しやフードパントリー、メンバーの手作り弁当など工夫した。現在は11時から13時までの開催。

## 2. 市民版地域福祉計画策定

「みんなの居場所」の目標、課題、課題解決のための計画を地域協議会で話し合い、狛江地域協議会として別紙、市民版地域福祉計画をまとめました。

生活クラブ運動グループ狛江地域協議会  
市民版地域福祉計画（2021年度版）

**あかちゃんからお年寄りまで、男女を問わず緩やかに繋がって情報共有できる、常設の居場所をつくり  
ます。様々な人が参加できるように、「みんなの居場所」と「花むすび」を開催します。**

目標 地域の拠点として公共施設・民間施設での、開かれた常設の居場所をつくること。

当面の開催形態

「みんなの居場所」 ・西河原公民館での月1回以上の定例開催（毎月第2土曜日11：00～14：00 …コロナ感染状況と対策）  
・ごはんと居場所連絡会の参加団体として行政による場所の提供（予約、施設使用料）

「サークル花むすび」 ・地域開放している個人宅での開催（毎月第2火曜日 11：00～15：00）

課題	課題解決のための実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い市民が気軽に参加できるための情報提供（男性・単身者・高齢者・子どもにも有益な情報）</li> </ul>	わっこ掲載、生活クラブ組合員への情報提供（ハーモニーに活動紹介記事、地域協議会ニュース）、地域協議会団体内での共有 市民活動支援センターこまえくぼホームページに掲載、施設前掲示板にポスター、インターン制度活用。明治大学学生寮へ情報提供、わっこ掲載（狛江市）
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフの増員</li> </ul>	スタッフ参加呼びかけ 生活クラブ（ハーモニー、地域協議会ニュース）、地域協議会内での共有。 スタッフ登録 2021年 14人→参加者上限を大人・子ども併せて50人とし、1回に必要なスタッフ12人（調理・配膳・居場所運営）として、2024年 20人目標 ・男性、単身者のスタッフ登録呼びかけ、わっこ等チラシにスタッフ募集記事。
<ul style="list-style-type: none"> <li>食事材料費、保険代など諸経費の確保</li> </ul>	カンパ箱、補助金の増額、保険代再考、東京都子ども食堂補助金、各種民間事業者からの寄付金。
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営の負担軽減</li> </ul>	メニューの定番化（過去のメニューの一覧化）、食材調達スタッフ（車両の運転）